


ティーチング・ポートフォリオ兼教員プロフィール

	<p>保育科 特任准教授</p> <p>初 田 宏 樹 (はつだ ひろき)</p> <p>HATSUDA Hiroki</p>
所属	保 育 科
学位	教職修士（専門職）（横浜国立大学大学院）
資格・免許	<p>小学校教諭専修免許状（令5小専修第25号：神奈川県教育委員会）</p> <p>中学校教諭専修免許状（数学）（令5中専修第63号：神奈川県教育委員会）</p> <p>高等学校教諭専修免許状（数学）（令5高専修第93号：神奈川県教育委員会）</p>
学歴・職歴	<p><学歴></p> <p>1995年 3月 信州大学教育学部 卒業（学士：教育学）</p> <p>2024年 3月 横浜国立大学教育学研究科高度教職実践専攻（教職大学院）修了（教職修士（専門職））</p> <p><職歴></p> <p>1995年 4月 上松町立上松中学校 教諭（数学）（1998年3月まで）</p> <p>1998年 4月 横浜市立青葉台小学校 教諭（2003年4月まで）</p> <p>2003年 4月 横浜市立桜台小学校 教諭（2006年3月まで）</p> <p>2006年 4月 横浜市立平戸台小学校 教諭（2011年3月まで）</p> <p>2011年 4月 横浜市立市沢小学校 教諭（2018年3月まで）</p> <p>2021年 4月 横浜市立上星川小学校 教諭（2022年3月まで）</p> <p>2022年 4月 横浜国立大学教育学研究科高度教職実践専攻（教職大学院）に内地留学（2024年3月まで）</p> <p>2024年 4月 横浜市立南瀬谷小学校 教諭（2024年8月まで）</p> <p>2024年 9月 埼玉学園大学 兼任講師（担当科目：算数、算数科教育法）</p> <p>2024年 9月 川口短期大学 兼任講師（担当科目：算数、算数科教育法）</p>
担当科目	算数科教育法、ICT活用の理論と方法、算数科概論、算数、教職実践演習、人間と教育、算数科教育法特論
専門分野	教育学（数学）
現在の研究テーマ	子どもの数学的モデリングにおける仮定設定スキル向上の研究
競争的資金等の研究課題	—
所属学会	日本数学教育学会 全国数学教育学会 日本科学教育学会
メッセージ	<p>私の専門は算数教育ですが、単に計算ができるようになることではなく、「なぜこうなるのか?」「どうすればもっと良い方法が見つかるか?」と考える力を大切にしています。保育士や幼稚園・小学校の先生を目指す皆さんが、子どもたちの「わかった!」「できた!」という瞬間を引き出せるよう、実践的な学びを一緒に深めていきましょう。</p> <p>授業では、皆さんが主体的に考え、話し合い、試行錯誤しながら学べる環境を大切にしたいと思っています。失敗を恐れず、積極的に発言し、挑戦してみてください。その経験が、将来子どもたちと関わる時の大きな力になります。</p> <p>皆さんの学びを全力でサポートします。一緒に充実した学生生活を送りましょう! よろしくお祈りします。</p>

教育		
2025年4月～2026年3月		
教育方針		<p>私は、学生一人ひとりが主体的に学び、将来の保育・教育現場で自信を持って活躍できる力を育成することを教育方針としています。</p> <p>保育士、幼稚園教諭、小学校教諭を目指す皆さんには、子どもたちの「学ぶ喜び」を引き出し、支える存在になってほしいと考えています。そのために、理論と実践の両面を大切に、授業では現場に直結する具体的な指導法を身につけることを重視しています。</p>
授業	授業の工夫	<p>授業では、学生が主体的に学び、考えを深められる環境づくりを重視しています。具体的には、ペアやグループでの対話を取り入れ、「なぜそうなるのか」を問う発問を多用し、思考の可視化を促しています。また、保育や小学校現場で活用できる指導法を模擬授業やロールプレイを通して体験させ、理論と実践を結びつけています。ICTを活用した図形や数量の動的操作、オンラインでの振り返りも取り入れ、理解の深化を図っています。さらに、失敗を恐れず挑戦できる雰囲気を整え、学生が安心して発言・試行錯誤できる場を提供しています。</p>
	授業改善のための取り組み	<p>授業改善に向けて、毎回の授業後に振り返りシートを活用し、学生の意見を次回に反映しています。また、授業を分析し、発問の質や時間配分を見直すことで、より効果的な指導を目指しています。アクティブラーニングの質を高めるため、グループワークの役割分担や評価基準を明確化し、ディスカッションを活性化する工夫を行っています。さらに、保育園や小学校での授業観察を取り入れ、現場の課題を共有しながら理論と実践を結びつけています。研究で得た知見（フェルミ問題や数学化促進、再教材化、ゆさぶり発問）も授業に還元し、学生に問題解決型学習を体験させることで、教育現場で活躍できる力の育成を目指しています。</p>
ゼミ	ゼミ活動 (卒業演習) (修了研究)	—
	卒業レポート・ 修了研究テーマ	—
課外活動	—	
2025年3月以前		
主な教育業績	—	

研究		
2025年4月～2026年3月		
タイトル（単著・共著）	年月日	発行所、発表雑誌、発表学会等
（学術論文） 数学化を促進する教授方略に関する実践研究 －小学校5年「速さ」における再声化×自律性支援の効果－	2026年 2月	山梨学院短期大学研究紀要 第46巻
（その他：学会発表） A case study emphasizing the importance of idealization in mathematization of real-world phenomena for pre-service teachers: Focusing on application of Fermi problems	2025年 8月	スウェーデン ICTMA-2 (LINKÖPING UNIVERSITY SWEDEN)
（その他：学会発表） フェルミ問題の教育的有効性評価枠組 －MAD と談話指標を用いた導入期の実証的検討－	2025年 12月	第63回全国数学教育学会研究発表会 (宮崎大学)
（その他：学会発表） 第22回数学的モデリングと応用の指導に関する国際会議 ICTMA-22 懐古－これからのわが国のモデリング研究の進展のために－	2026年 3月	2026年度数学教育学会春季年会 (東京理科大学)
2025年3月以前（主なもの）		
タイトル（単著・共著）	年月日	発行所、発表雑誌、発表学会等
（著 書） 『算数おもしろ問題100』 (全105頁) (共著)	2023年 3月	東洋館出版社 ・担当部分：問題9、11、12、17、23、43
（著 書） 『ゲームと生きる！③ ゲームとのスゴイ未来』 (共著)	2022年 3月	フレーベル館 ・担当部分：p.6（共同執筆につき本人担当部分抽出困難）
（著 書） 『中学生から楽しめる数学への扉』（算数卒業旅行3 目指せ算数クイズ王） (共著)	2019年 11月	汐文社 ・担当部分：p.12、13、30、31

研究 (つづき)		
2025年3月以前 (主なもの) (つづき)		
タイトル (単著・共著)	年月日	発行所、発表雑誌、発表学会等
(学術論文) 算数科における理想化の過程に焦点を当てた学習活動を志向した教材研究－フェルミ推定の問題をたたき台として－ (単著)	2024年10月	全国数学教育学会
(学術論文) 算数科における「ゆさぶり発問」についての考察－教科書の文章題を活用して－ (単著)	2024年7月	全国数学教育学会
(学術論文) 算数教科書の文章題を用いた再教材化に関する研究－植木算の実践を通して－ (単著)	2024年6月	横浜国立大学教育デザイン研究
(学術論文) 総合的・発展的に学習していく力を育成するための研究－第5学年の面積の指導を通して－ (単著) (査読付)	2021年3月	新しい算数研究 No.602 (2021年3月号、p.46) (東洋館出版社) (新算研教育研究賞優秀賞受賞)
(その他：事例研究) 今月の指導 3年「わり算」 (単独)	2022年12月	新しい算数研究 No.623 (2022年12月号) (東洋館出版社) pp. 52-54
(その他：事例研究) 今月の指導 「速さ」 (単独)	2022年10月	新しい算数研究 No.623 (2022年10月号) (東洋館出版社) pp. 66-68
(その他：事例研究) 深い学びを育てるおもしろ問題 統合的な見方から深い学びへ (単独)	2022年9月	新しい算数研究 No.620 (2022年9月号) (東洋館出版社) pp. 44-45
(その他：事例研究) 今月の指導 4年「平行と垂直」 (単独)	2022年8月	新しい算数研究 No.619 (2022年8月号) (東洋館出版社) pp. 60-62

研究 (つづき)		
2025年3月以前 (主なもの) (つづき)		
タイトル (単著・共著)	年月日	発行所、発表雑誌、発表学会等
(その他：事例研究) 今月の指導 4年「分数」 (単独)	2022年 4月	新しい算数研究 No.615 (2022年4月号) (東洋館出版社) pp. 46-48
(その他：事例研究) 教科書アレンジで思考力・判断力・表現力を 育てる (単独)	2022年 2月	授業力&学級経営力 (2022年2月号) (明治出版) pp. 124-127
(その他：事例研究) 自ら問題発見、問題追及していく力を育成 するための研究－導入の問題づくりから ICTを使った発展学習まで－ (単独) (査読付)	2021年 10月	令和3年度 日本教育振興会教育賞
(その他：事例研究) 今月の指導 1年「たし算とひき算」 (単独)	2021年 7月	新しい算数研究 No.606 (2021年7月号) (東洋館出版社) pp. 46-48
(その他：事例研究) 今月の指導 6年「並び方と組み合わせ方」 (単独)	2021年 6月	新しい算数研究 No.605 (2021年6月号) (東洋館出版社) pp. 66-68
(その他：事例研究) 算数好きを育てる「? (はてな)」から「! (なるほど)」と子どもが思える授業を目指 して (単独)	2020年 12月	新しい算数研究 No.599 (2020年12月号) (東洋館出版社) pp. 30-32
(その他：事例研究) 深い学びを育てるおもしろ問題「? (はて な)」から「! (なるほど)」へ考えたくなる 分数のおもしろ問題 (単独)	2020年 7月	新しい算数研究 No.594 (2020年7月号) (東洋館出版社) pp. 38-39
(その他：事例研究) 今月の指導 3年「重さ」 (単独)	2020年 2月	新しい算数研究 No.589 (2020年2月号) (東洋館出版社) pp. 46-48

研究 (つづき)		
2025年3月以前 (主なもの) (つづき)		
タイトル (単著・共著)	年月日	発行所、発表雑誌、発表学会等
(その他：学会発表) 数学化を促進するための教科書活用に関する研究 (単独)	2024年 8月	第106回全国算数・数学教育研究(大阪)大会
(その他：学会発表) 算数教科書の活用問題を用いた数学化を促進する問題作成に関する研究 (単独)	2024年 6月	全国数学教育学会 第60回研究発表会 (奈良教育大学)
(その他：学会発表) 日常的な体験と抽象的な学びをつなぐゆさぶり発問の効用－教科書の文章題を活用して－ (単独)	2023年 12月	全国数学教育学会 第59回研究発表会 (福岡教育大学)
(その他：学会発表) 速さの学習を通して自ら情報を抜き出し問題解決をするには (単独)	2022年 10月	第77回 関東甲信静数学教育研究大会要項 (日本数学教育学会：オンライン)
(その他：学会発表) HOW TO USE ELEMENTARY MATH TEXTBOOKS TO PROMOTE MATHEMATIZATION (数学化を促進するための小学校算数教科書の活用の仕方) (単独)	2023年 9月	ICTMA-21 (淡路夢舞台国際会議場)
(その他：学会発表) 数学化を促進する教材作成 (単独)	2022年 12月	全国数学教育学会 第57回研究発表会 (早稲田大学)

社会貢献
産官学連携、高大連携、研修会講師、学外委員会活動、学会活動、講演会、等
2025年4月～2026年3月
—
2025年3月以前（主なもの）
<ul style="list-style-type: none"> ・ 志算研授業研究会講演会（ワークショップ）（筑波大学附属小学校）（2023年9月） 講演テーマ：算数好きを増やすための環境づくり ・ ガウスの会授業研究会講演会（ワークショップ）（横浜国立大学附属小学校）（2023年6月） 講演テーマ：数学化を促進するための教科書の活用の仕方 ・ 横浜市保土ヶ谷区算数研究会講演（於：横浜市立帷子小学校） 講演テーマ：全員参加の授業を目指して ・ 横浜市保土ヶ谷区算数研究会講演（於：横浜市立帷子小学校） 講演テーマ：算数教科書の分析について
受賞 ※個人、所属団体
<ul style="list-style-type: none"> ・ 2021年度東京理科大学「算数・数学の達人」 最優秀賞（2021年12月） ・ 新算研教育研究賞 優秀賞（2021年1月）